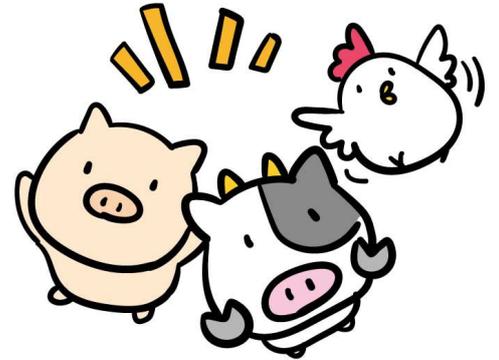




ウシとブタ、繊維質の栄養価値が違います

豚などの単胃動物は、食物繊維を消化することができませんが、反すう動物にとって、粗飼料の繊維質はルーメンの環境維持に欠くことができません。飼料の一般成分として**粗繊維**を測定した場合、これに含まれるのは、セルロースの大部分とヘミセルロースやリグニンの一部です。ヘミセルロースの一部は、分析中に溶出してしまうため、反すう動物がルーメン内で消化できる粗飼料の繊維質すべての測定が出来ているわけではありません。そのため、反すう動物に給与する粗飼料の繊維質の評価として、界面活性剤（デタージェント）を用いた中性デタージェント繊維（NDF）や酸性デタージェント繊維（ADF）などの**デタージェント繊維**や酵素分析法による**総繊維（OCW）**で評価する方法が用いられています。



科学飼料研究センターでは、これらの分析を行い、効率の良い粗飼料の利用のお手伝いをしています。

